

# グリーンニュース 第16号

発行年月日 平成14年8月1日

発行責任者 群馬県環境アドバイザー連絡協議会

代表 新井 榮一

環境アドバイザー重点行動テーマ

## 行動する環境アドバイザー

・・・研修・情報交換の場を広く・・・

### マイ・バッグ・キャンペーンの実施とノーレジ袋デー(10/1・11/1)の提唱 ～平成14年度は、9月1日～11月30日に繰り上げ～

☆昨年度53万枚のレジ袋の節約を果たし、県民への意識改革を提起したマイ・バッグ・キャンペーンを本年度も行います。

☆更に本年度は、県内の自治体・スーパー・商工会等に10月1日と11月1日を“ノーレジ袋デー”として協力していただけるようマイ・バッグ・キャンペーン実行委員会より、お願いの文書をお送りしました。都道府県単位としては、全国で画期的な試みです。県民への意識改革の第一歩に結びつけば幸いです。

### CO<sub>2</sub>CO<sub>2</sub>宣言(コツコツ宣言)へのご協力を

今般、群馬県は、毎日の生活の中で実施できる、地球温暖化防止対策の一つとして、CO<sub>2</sub>CO<sub>2</sub>宣言(コツコツ宣言)を提唱し、県民の皆様の実施協力をお願いすることになりました。

・・・当宣言は、エコDO宣言を名称変更したもので、目的・内容は同じです。・・・

現在、印刷中ですので、8月には、皆様にお届け致します。

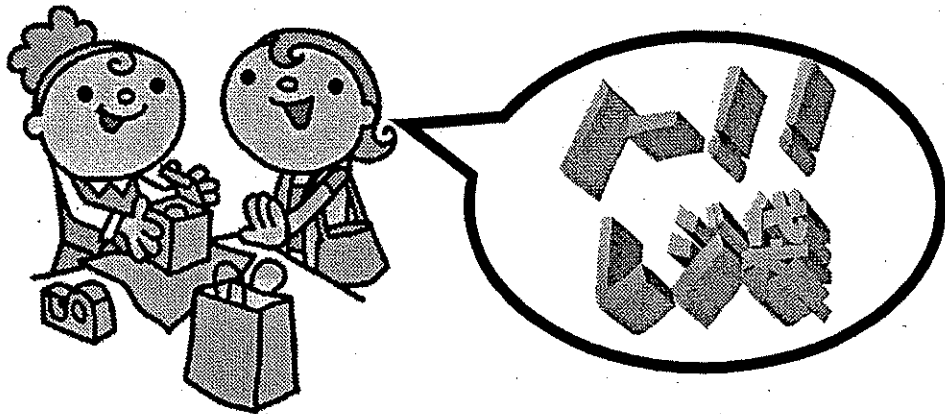
### 地球環境学習講座25団体120講座に

平成14年度も実施される群馬県地域環境学習講座は、皆様のご協力により、昨年度と殆ど同じの120講座が行われることになりました。詳細は、別紙A3版の一覧表をご覧ください。尚、一覧表中、ご希望の講座がありましたら、自由に参加して下さい。

### 環境フェスティバルは10月27日(日)

県庁前広場で、例年行われている『群馬県環境フェスティバル』が、今年は、10月27日(日)に行われます。今年は、“エコムーブ号”の機材活用・展示・実験・説明に重点を置きたいと思いません。多くの方々のお手伝い・お出掛けをお待ちしています。

## 平成14年度マイ・バッグ・キャンペーンの特徴



本年度実施されるマイ・バッグ・キャンペーンについて、昨年と違う点(特徴)は、次の通りです。

### 1 期間

9月1日から11月30日までの91日間と1ヶ月繰り上がります。これは、歳末の商店・スーパー等の混雑を避けるためです。

### 2 応募カードのデザイン

ご要望により、使いやすくするとともに、説明・解説等の字句をいれました。(前年度の応募カード有効です。)

### 3 キャンペーン案内文発送数の増

県民への周知度不足等、昨年度の反省から、今年は、前年度の参加店、商店街以外に、商工会など事務局で把握している商店街振興組合へもキャンペーン参加のご案内を差し上げました。アドバイザーの方々からも、地域・お店等への働きかけをお願いします。

### 4 賞品総数の増加

皆様のご要望に応え、本年度は、2,023本と賞品総数を増やしました(昨年は1,015本)。尚、今年も1等は、電動自転車で、抽選は12月24日に行います。

### 5 ノーレジ袋デー設定を提唱

今般、各関係者へマイ・バッグ・キャンペーンの参加をお願いする際、10月1日と11月1日をノーレジ袋デーとして設定し、この運動にも参加・協力して下さいよう、ご案内を差し上げました。どの程度の参加があるか、まだ不明ですが、分かり次第、皆様にお知らせする予定です。

### 〇ノーレジ袋デー実施に伴うお願い

マイ・バッグ・キャンペーン実行委員会として、過日、スーパーや商工会の方々、このノーレジ袋デーについて話し合った際、お店側から「この運動のことを知らないで、お店に来られたお客様に迷惑をかけたくない。」や「レジ袋を出さないのは、お店のケチ・利益稼ぎと思われたら困る。」という発言がありました。その結果、

(1) 当日はお客様へ趣旨の説明はするが、「レジ袋を渡す・渡さないはゆるやかにしよう」ということになりました。

(2) また、いかに事前に県民へ周知徹底を図るかが検討され、

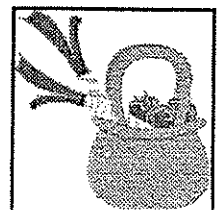
(ア) マスコミ等の活用(新聞・テレビ・FM) (イ) 市町村広報紙での掲載

(ウ) マイバッグキャンペーン参加店でのポスターでの啓発

(エ) グリーンコンシューマー群馬ネット加盟の団体等によるチラシPR

(オ) 環境アドバイザー等が中心となったスーパー・イベント等での街頭・店頭啓発

を行う等が確認されました。アドバイザーの皆様、後日、地区幹事からご協力依頼があるかもしれません。その際はよろしくお願い致します。



# 専門部会報告

## ごみ問題部会

平成14年度6月1日に下記のような討議をしましたので報告いたします。  
《司会部長 新井靖衛（高崎） 文責書記 吉澤 俊則（安中）》



### 1 今までの「ごみ問題」専門部会の討議内容まとめ報告：新井部会長

#### 1-1 基本認識

##### (1) 我が国とドイツの対比

—平成13年7月第3回環境アドバイザー宿泊研修でのヨーロッパ視察報告より—

##### ①ドイツの場合

- ・自分達の環境は自分達で守るという国民意識の定着
- ・循環経済及び廃棄物法の厳守、デポジット制度、DSD制度の導入
- ・グリーンコンシューマーの定着、缶入り飲料の自動販売機無し、レジ袋有料、発生抑制意識の徹底 他

##### ②日本の場合

- ・環境政策より経済政策が優先（利便性が環境負荷低減よりも優先）
- ・環境関連法案運用の不徹底
- ・供給責任の不明確さ、自動販売機の普及、レジ袋・トレイの普及（利便性の優先）
- ・分別収集ルールの不統一（市町村毎に制定、同一地域でもルールが異なる） 他

#### 1-2 現状の認識

##### (1) 平成11年度、群馬県のごみ発生量と費用

①年間…発生量：792,278t（内資源ごみ：25.8t）

費用331.2億円（処理経費：198億、建設費：133.2億円）

②県民一人1日当たり：1,074g（処理費用16,400円/年）

(2) 平成9年4月施行の「容器包装リサイクル法」により官、産、民の役割分担が決まる。

(3) リサイクルの3つのルート

#### 1-3 現状の取り組み・持続可能な循環型社会の構築及び自然への忘恩行為を止めるために

##### (1) 行政サイド

①法の準備：「S57年ポイ捨て禁止条例」、「H12年の生活環境の保全に関する条例」、「H12年廃棄物不法投棄防止緊急対策」、「家電リサイクル法」、「容器包装リサイクル法」他

②6月5日を『環境の日』と制定 ③道普請型ぐんまクリーン作戦

④ゴミ分別収集の指導 ⑤サーマルリサイクル（コジェネタイプの焼却炉による）の採用

##### (2) 産業界サイド

①生ごみコンポスト化技術の開発

②剪定残枝、枯葉等の堆肥化技術の開発

③着色ガラス瓶再利用技術の開発

④生分解性プラスチックの開発

⑤RDF（ゴミ固形燃料）技術の開発

⑥コジェネ型焼却炉の開発 他

##### (3) 住民サイド

①マイ・バッグ、マイバスケット運動の実施

②ゴミ分別収集の実践

③生ごみの有用微生物による処理の実践

④道普請型ぐんまクリーン大作戦への参加

#### 1-4 今後の取り組み

##### (1) 行政サイド

①現在実施中の施策の徹底と法の見直し

②ゴミの有料化、デポジット制導入の検討

③自動販売機の規制

④生ごみの分別回収と処理対策の検討

⑤サーマルリサイクルの確立（RDFと焼却炉との整合性を図る）

⑥合併処理槽の普及指導（川を汚す台所の水はゴミと同じと考える）

⑦環境関連企業の支援



3R 減らしましょう

## (2)産業界サイド

①技術開発へのさらなる挑戦

②ばら売り、量り売りの導入

容器単価…トレイ：色付き15円、無色4円、カップうどん：60円、ラーメンカップ：40円、卵カップ：5円、紙パック（1L容器）：10円、ペットボトル2L：62円、1L：47円、スチール缶：20円、アルミ缶：20円

③レジ袋の有料化

## (3)住民サイド

①過剰包装を断る

②マイ・バッグ・マイバスケットのさらなる利用

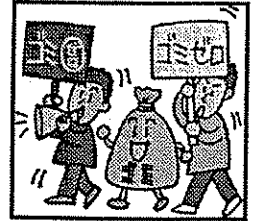
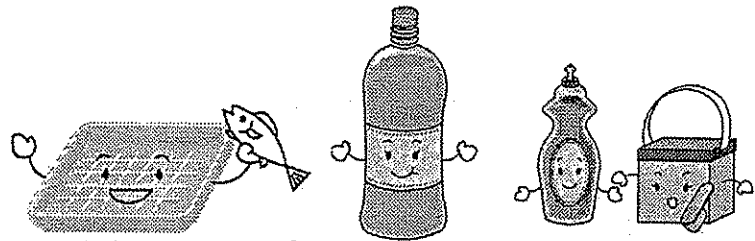
③詰め替え商品の積極利用④使い捨て商品（割り箸、紙コップ等）を使わない。

⑤使用可能不用品のリユースセンタへの持ち込み⑥生ごみの自家処理

⑦リターナル瓶商品の積極利用⑧分別排出の徹底

⑨グリーン購入（再生紙、生分解性プラスチック製品等）

⑩単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への切り替え



次回討議テーマ<次回開催予定…9月7日（土）13：30～16：00>

今後の取り組みについて項目毎に具体策を討議する。（どなたでも自由にご参加下さい。）

## 温暖化・エネルギー部会

月日 平成14年6月1日（土）

見学先 宮城村バイオガス実証プラント

主管 温暖化・エネルギー部会

目的 県内での先進的プラントの現状とその将来性を探る



## 宮城村バイオガス実証プラント見学会報告書 温暖化・エネルギー部会 文責：菊川 照英

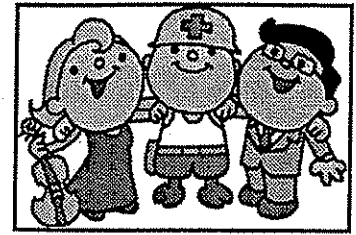
宮城村は1998年一郷一学運動として新エネルギーに取り組み、温室効果ガスを2010年までに1998年度に比へ炭素換算量で38%削減目標としてスタートしている、県内でも一歩先を先んじた革新的自治体である。今回、この宮城村で取り組んでいる太陽光発電・バイオガス化プラントの見聞を報告します。

太陽光発電は今年から平成18年3月までの5年間 NEDO と宮城村の共同開発として設置されたものである。設置場所は、宮城村中学校の屋上にあり、標準化推進型発電システムである。太陽電池セル他結晶シリコン太陽電池を使用し、336枚のモジュールで40.32KW を出力する。（一般家庭3～4KWで賄うことが出来る）学校での電気使用量としては十分すぎるものと思う、データの収集は全て自動化されている。

バイオガス化プラントは家畜排泄物処理・利用システムを目的として3年計画で、今年バイオガス発酵システムが稼働開始していた。2年度は尿汚水浄化システムと消化液発酵堆肥化システム、3年度は総合運転管理システムで完成する。バイオガス発酵システムとは家畜糞尿を原に「無希釈・高負荷方式メタン発酵法」と呼ばれ、家畜排泄物を搾汁機に入れ搾汁液と分離残渣物に分別して分離、残渣物は堆肥にされる。搾汁液はメタン発酵槽に入れ、嫌気性のバクテリアとメタン菌により、25日ぐらいで発酵メタンガス化させ、脱硫器にかけガスホルダにためて、マイクロガスタービンを通して、電気・熱として利用する。メタン採集と利用の技術は古くからあり、化石燃料と絡みで一進一退している。ただ今回注目すべきは、メタン採集に当たり無希釈であるという点、最新型マイクロガスタービンであった。来年度の汚水浄化システムである、バイオガス化は、汚水処理がキーワードである。是非この実証プラントで成功してほしい。

終わりに休暇中にもかかわらず、宮城村助役をはじめ、関係者の方々にお手数をおかけしたことに感謝を申し上げます。有意義な見学会でした。

群馬県環境アドバイザー



勢多ブロック・畜産等による悪臭公害対策を探る

日時 平成14年5月30日（木）13:30～16:00

視察先 伊勢崎市山王町 宮田フリーティング

目的 大規模養豚経営にもかかわらず、EM微生物菌の採用により、悪臭を出さず、地域の中で共存している。今回は、その内容・対策等を探る。

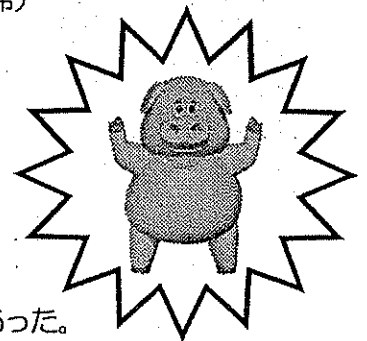
視察者 富士見村、大胡町、宮城村、粕川村、4町村の行政担当者及び環境アドバイザー全体で34名

説明者 宮田会長（他に伊勢崎市の環境アドバイザーの下城さん、吉江さん同席）

経営の規模 子豚を含め5,000頭～6,000頭

視察で感じたこと

- 1 豚舎の床がきれいであり、かつ豚が汚れていない。
- 2 ハエが居ない。
- 3 悪臭がほとんどない。



視察者からの一問一答によるまとめ

- 1 昔は、糞尿が川に流れたため、公害防止条例違反等、種々のトラブルがあった。
- 2 糞尿を溜めると、アンモニア等悪臭の発生から、近隣とのトラブルもあった。
- 3 伊勢崎市にも、昔は、養豚農家は約70軒あったが、今では、1～2軒である。
- 4 偶然EM菌を知る機会があり、飛びついた。現在では、息子も養豚経営を継ぎ、最近では、孫もその気持ちがあるようである。しかし、EM経営には、農林省等の奨励、補助金は無かった。
- 5 EM微生物菌の使用方法は、エサにポカシを入れて、豚に与えている。
- 6 EMの活性液は、豚舎にある尿溜まりの水槽に、3.5PHにしたものを自動的に入れている。
- 7 EMの費用は、エサ代の200分の1位で、負担とは感じていない。
- 8 EMの効用は、使用后3ヶ月位で効果が出てくる。
- 9 豚舎や豚自体に活性液を噴射する方法は、豚が水分で風邪をひく等、弊害があるので、現在は採用していない。
- 10 宮田フリーティングで発生するEM使用の堆肥は、10kgあたり200円で近隣の農家に提供している。
- 11 当堆肥を使用した野菜の成長は、群を抜いており、多くの人から喜ばれている。  
…帰路、実際にブロッコリー畑や玉葱の実物を見たが大きかった。…
- 12 水質汚濁に関するデータは、保健所でないと分からないとのこと。…現在は、浄化装置を通した後、一般の河川に流していた。…
- 13 宮田フリーティングは、当EMと接したお陰で、養豚経営が成り立っているとEM菌との出会いに感謝していた。
- 14 最近、タイ、北朝鮮、コスタリカ等、海外で評判がよい。今後は逆輸入としての話題が。

感想・まとめ



- 1 宮田フリーティングは、浄水装置にはお金をかけていたが、豚舎には、あまり費用をかけていない印象。しかし、豚舎はきれいであり、確かにハエも居ないし、臭いも少ない。
- 2 えさにEMポカシを混ぜることで、このようなきれいな豚がなぜできるのか、不思議な感じがするが、実態は事実である。
- 3 私には、EM菌入りのエサの効用とともに、豚の糞尿が入る水張り式便所（水槽）にEM活性液を入れている（自動供給）のか効いているではないか、と感じられた。“豚は本能的に、水槽があると、床を汚さず、水の中に糞尿をする習性ありとのこと”

- 4 エサにEMボカシを入れることは、餌業者にやってもらうので、宮田さんの負担はないとのこと。
- 5 当然、努力は必要と思うが、費用は余りかかっていない。
- 6 以上の点から、EMの効用はあると思われるので、研究の必要ありと感じられた。

(文責 勢多ブロック 鈴木 克彬)

### 高崎ブロック…パネルディスカッション…

日時 平成14年7月20日(土) 14:00~16:10  
 場所 高崎市 サンライフ高崎 2階ホール  
 テーマ ごみ減量化の方法を探る



司会 高梨 善久 (環境アドバイザー高崎ブロック代表)

パネラー (敬称略)

加藤 章 (高浜クリーンセンター所長)、新井 一樹 (コープぐんま 統括部長)

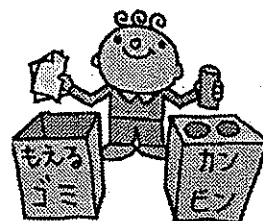
新井 榮一 (群馬県環境アドバイザー連絡協議会代表)

新井 靖衛 ( // ごみ問題専門部長)、勝田 梅代 (くらしの会・環境アドバイザー)

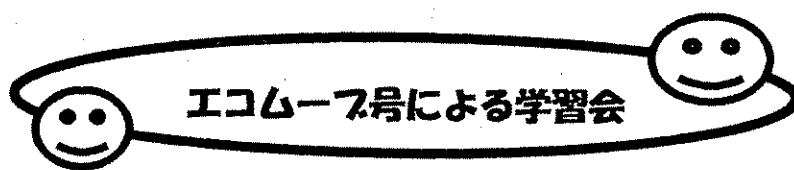
参加者 約30名

### ポイント

- 1 大切なことは、発生抑制と生産者責任の思想が定着すること。
- 2 経済優先・消費優先の思想から、環境優先の考え方への意識改革
- 3 県民一人ひとりの行動が大切。



(文責 高崎ブロック 高梨 善久)



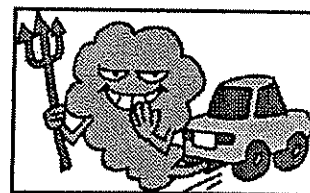
### 前橋市南部ブロック…エコムーブ号を迎えて…

日時 平成14年7月20日(土) 10:00~15:00

場所 前橋市下川淵公民館

テーマ 実験を通して、子供達とともに、環境を学ぶ

- (1) 二酸化炭素による温暖化現象 (エコムーブ号のフラスコを使って)
- (2) 排出ガスによる大気環境汚染の実態調査 (エコムーブ号の試薬を使って)
- (3) 近隣の水 (6種類) を持参してのCOD調査 (エコムーブ号の試薬を使って)



参加者 約28名 (子供16名・大人12名)

世話人 アドバイザー 飯塚 忠志、西村 良子、角田 潤、茂木 貴太郎、笛木 裕二



### コメント

- 1 笛木夫人の素晴らしい“腹話術”があり、子供達は、楽しく問題点を習得していた。
- 2 各種実験での説明も分かりやすく、子供達も納得していた。
- 3 エコムーブ号の活用の成否は、テーマの設定と実験指導者の指導技術(知識)が大切と感じられた。
- 4 この講座で得た体験を、子供達が日常生活に結びつけ、環境に配慮した生活を実行することが大切だと感じている。

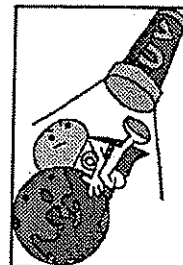
(文責 前橋南ブロック 飯塚 忠志)

## 館林ブロック

この度、館林市立多々良中学3年生を対象に、学校の要請により、去る6月18日、エコムーブ号による環境教育が実施されました。

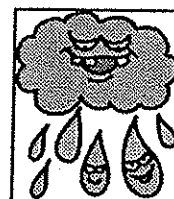
多々良中学校は、館林西北部にあり、北に白鳥の飛来する多々良沼、自然と芸術を同時に満喫できる多々良保安林（松林）があり、この林の中には、市内外の彫刻家による、36の作品が点在する「彫刻の小路」を散策することが出来ます。また近くに、群馬県立館林美術館もあり、文化と自然環境が両立する、安らぎと活力に満ちた地区であります。

この自然環境に恵まれた中学校では、環境教育に熱心に取り組んでおります。  
今般導入された「エコムーブ号」による環境教育が行われました。



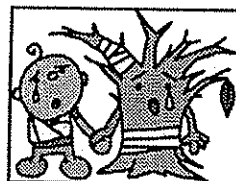
### ※地球温暖化の問題点

- 1) 地球が温められる仕組みについての実験  
二酸化炭素の濃度が濃くなるとなぜ温度が上昇するか実験による体験
- 2) 今、地球環境にどんな問題が起こっているか。また、今後どんな問題が起こることが予想されるか
  - ①オゾン層の破壊と大気への影響
  - ②酸性雨の原因と森林被害を及ぼす問題点
  - ③温暖化が進むと、地球が砂漠化・海洋の上昇等の起こりうる問題点。これらを防止するため、私達に出来る取り組み方法について
- 3) 窒素酸化物による空気汚染の実験  
ディーゼル車・ガソリン車・低公害車（エコムーブ号）の排出ガスの比較実験
- 4) その他、パネル等による環境学習



### ※会場をあらため、ビデオプロジェクターによる環境学習

- 1) 環境クイズによる学習
- 2) 群馬の自然環境の状況について  
自然・水・大気・動物等に影響を及ぼす問題点
- 3) 県内の水質汚濁状況、特に、館林地区の川や沼の汚染状況について
- 4) 環境問題について私達に出来ること、守らなければならないことは何か？  
家庭で出来る環境活動について



以上、男女3年生2班に分かれ、エコムーブ号に搭載された機材を利用して熱心に環境教育が行われました。

今後、学校のみならず、あらゆる環境教育に、この移動環境学習車を利用することにより、関心を深めるとともに、環境問題について一層の理解を深めるものと思われます。

（文責 館林ブロック 小林 吉右衛門）

## 環境アドバイザー境

日時 平成14年7月27日（土） 9:30~12:00

場所 境町総合文化センター

テーマ 「子どもと考える身近な環境問題」

～いきいき体験学習 第2弾～

参加者 46名 アドバイザー11名



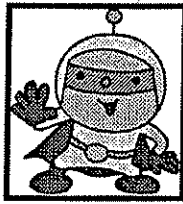
### なまごみのふしぎなせかい

役場の生活環境課の石倉課長から、境町のゴミが右肩上がりに増え続けているので、減量化しなければいけない事や、住民がゴミを出すときに守って欲しいモラル、境町で出される1/3以上が生ゴミで、焼却するにはたくさんのエネルギーが必要であること、土に還し堆肥にすれば植物の栄養になり、燃や

燃やすゴミの減量化につながる事など、お話しして頂きました。そのあと、有機農法をしている関口さん（環境アドバイザー）が、土の中に居る、いろいろな微生物や昆虫が、生ゴミを分解してくれる仕組みの説明をして、実際にペットボトルを使った堆肥づくりを見せたり、アドバイザーが生ゴミ（ただビンに入れた物・EM菌を入れた物・米糠をまぶした物）を7月/20・23・26と見本を作ってきて、実際に見たり臭いを嗅いだりの体験をしてもらいました。そのあと、県からお借りしてきたエコムーブ号の中にある、ポリバケツに入った、今にも臭ってきそうなほどリアルな生ゴミの模型に思わず鼻をつまんだり、これが4人家族の1週間分だと聞いてバケツを持ち上げてみたり、のなかで毎日お母さんたちがしている生ゴミの処理の大変さなどもわかってもらえたらな、と考えながら私たちアドバイザーも、とても勉強になった1日でした。

平成14年7月30日

（文責 境町ブロック 北爪郁子）



募集します！

注記 お願い

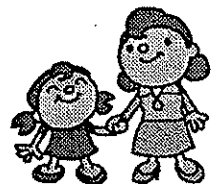


今後出来る限り、地域ブロックや専門部会活動の様子を、グリーンニュースに掲載したいと思います。記録としても残りますし、また、他の方々の参考にもなりますので、遠慮せず、原稿をお送り下さい。但し、字数は600字以内として下さい。

…送付先 371-0105 勢多郡富士見村石井2445-219 鈴木 克彬 TEL・FAX 027-288-4297…

### 群馬県環境アドバイザー今後のスケジュール

平成14年8月以降のスケジュールは、次のとおりです。ご参加下さい。



月日	名称	会場	主催・主管
8月31日(土)	21世紀を担う子供達の環境学習講演会	社会福祉総合センター	環境教育部会
9月1日(日)～	マイ・バッグ・キャンペーンスタート	全県対象	マイ・バッグ実行委員会
9月7日(土)	定例 専門部会	社会福祉総合センター	連絡協議会
10月1日(火)	ノーレジ袋デー・NO1	全県対象	マイ・バッグ実行委員会
10月27日(日)	群馬県環境フェスティバル	県庁前広場・ロビー	群馬県
11月1日(金)	ノーレジ袋デー・NO2	全県対象	マイ・バッグ実行委員会
11月16日(土)・17日(日)	宿泊研修会(講演会・分科会)	赤城青年の家	温暖化・エネルギー部会
12月7日(土)	定例 専門部会	社会福祉総合センター	連絡協議会
1月18日(土)	在日ドイツ人環境講演会	社会福祉総合センター	ゴミ問題部会
3月1日(土)	定例 専門部会	社会福祉総合センター	連絡協議会

### 9月の専門部会のお知らせ

環境アドバイザー連絡協議会の専門部会が次のように行われます。参加は自由です。相互の研修・啓発にご参加の上、意見交換して下さい。

記

日時 平成14年9月7日(土) 13:30～16:00

場所 群馬県社会福祉総合センター

2階 201会議室 ごみ問題部会

4階 401会議室 環境教育部会

402会議室 温暖化・エネルギー部会

環境についてみんなで、  
考えてみよう!!

